

■ 「VBA 源泉徴収票・支払調書」の年度更新処理とデータの移行について

「VBA 源泉徴収票・支払調書」の年度更新処理は「開始」メニューの「前年データ読込」ボタンで前年分のファイルから直接データの移行ができます。

前年分と本年分のシステムファイルが同じフォルダにないと、この処理は実行できません。

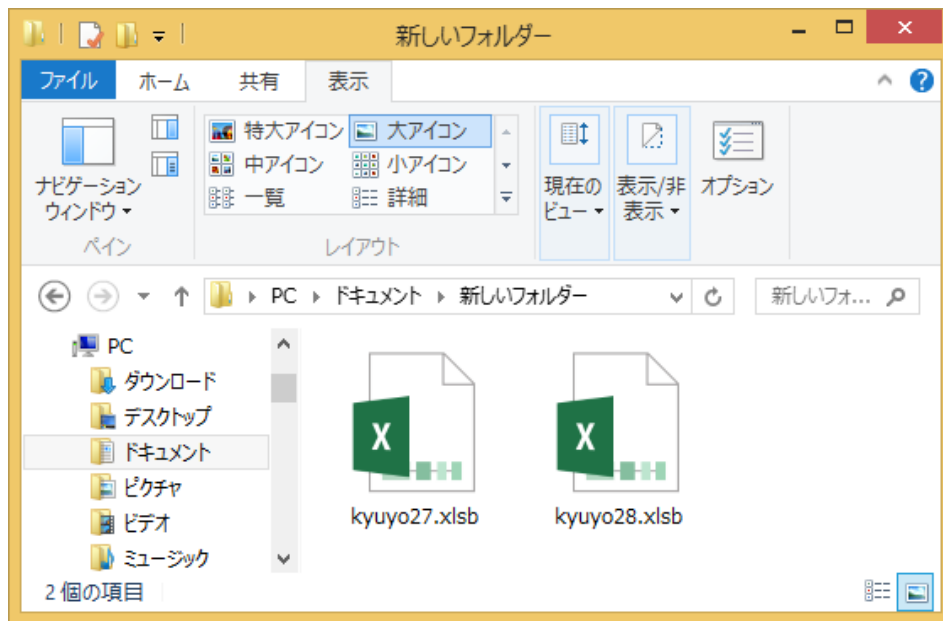
この処理前に「ファイルへの保存」処理で前年分のデータを CSV ファイルにバックアップしておいてください。

平成 29 年版システムの「開始」メニューの「前年データ読込」ボタンで、前年の住所・氏名・扶養家族名などのデータが読込まれます。扶養親族名も読込まれますので、不要な場合はデータを削除してください。

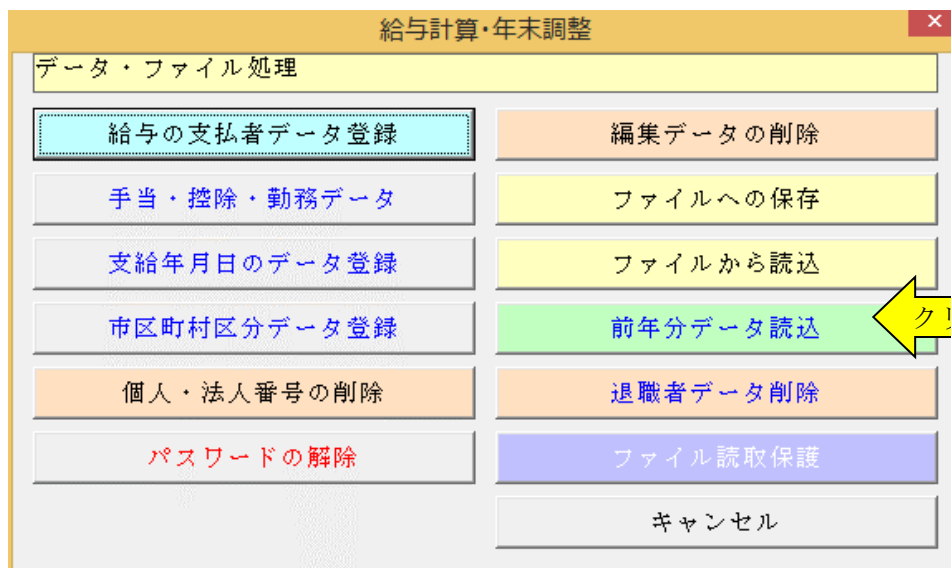
社会保険のデータは自動更新されますが、従前の健康保険と厚生年金の標準報酬月額データは再度確認してください。

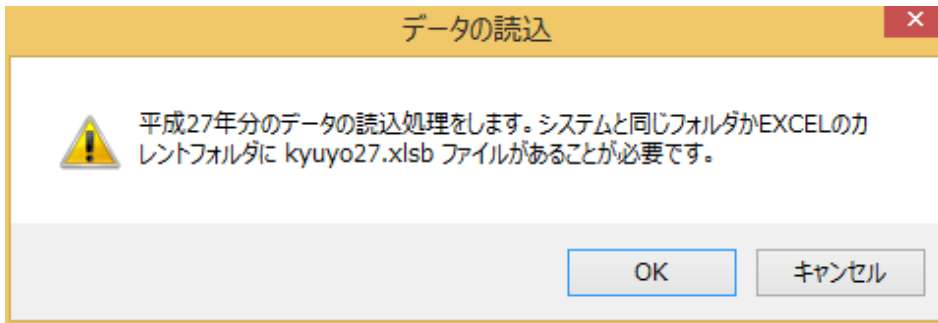
○ 「VBA 源泉徴収票・支払調書」の前年分ファイルからのデータの移行について

前年分ファイルから当年分ファイルへのデータの移行方法は平成 27 年版の tyosyo27.xlsb と平成 28 年版の tyosyo28.xlsb を同じフォルダに置きます。

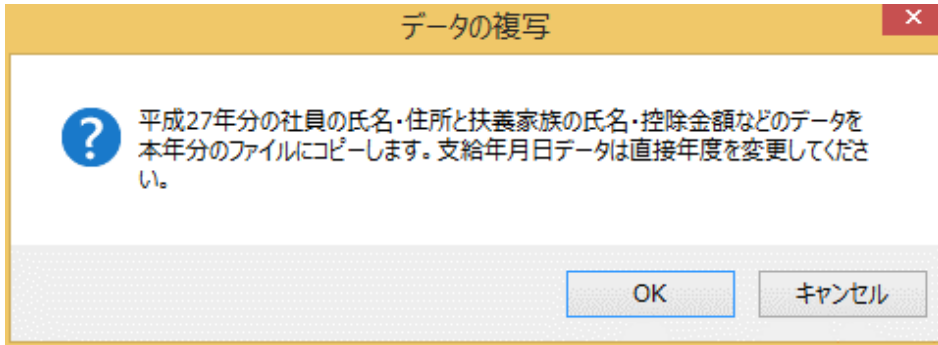


「VBA 源泉徴収票・支払調書」の年度更新処理では、「開始」メニューから「前年分データ読込」と「前年退職者データの削除」処理を実行します。





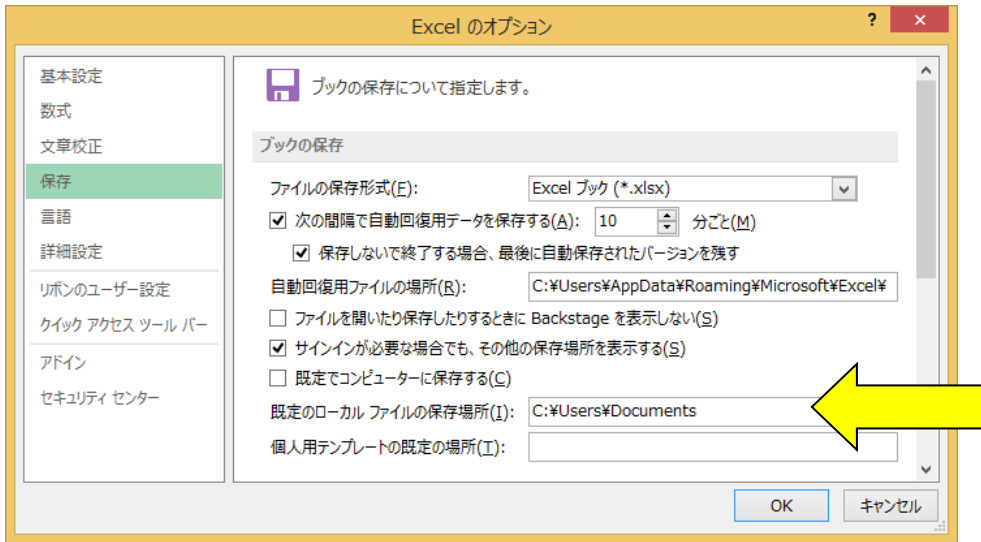
平成 28 年版の kyuyo28.xlsx を起動して「前年分データ読込」を実行するとメッセージが出ます。



2つのファイルが同じフォルダにあると平成 27 年版の kyuyo27.xlsx を自動的に認識して、メッセージからデータの移行処理が開始されます。

《データ移行についてのご注意》

「VBA 源泉徴収票・支払調書」の tyosyo27.xlsx が Excel のカレントフォルダにあると、Excel は同じフォルダにある tyosyo27.xlsx ファイルではなくてカレントフォルダのファイルからデータの移行を実行してしまいます。Excel のカレントフォルダは、「Excel のオプション」の「保存」の「既定のローカルファイルの保存場所」です。



Excel は最初にこのフォルダから下のファイルを検索して開こうとします。

このフォルダに ZIP ファイルを解凍後の空の tyosyo27.xlsx ファイルがあると、このファイルに対してデータ処理を実行しますので、データの移行が正常にできません。

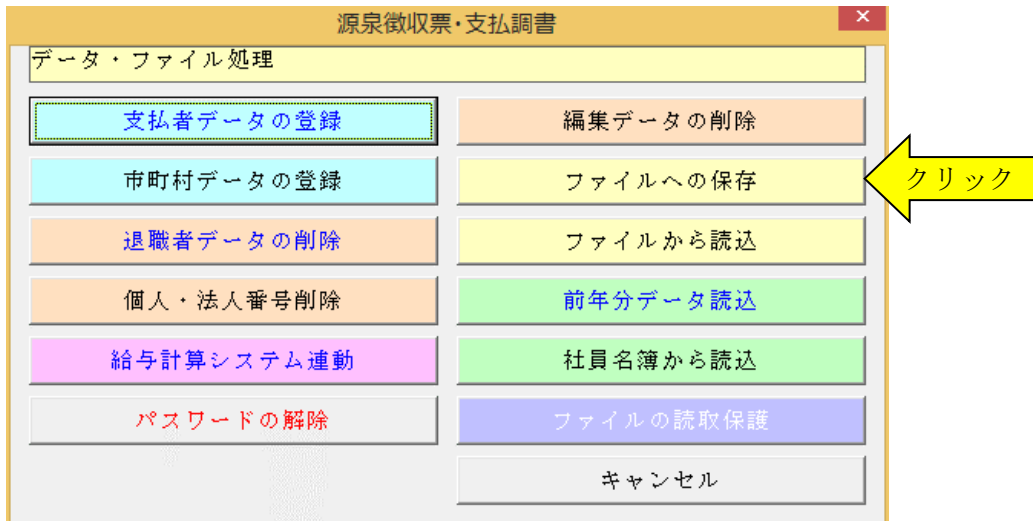
■ 「VBA 源泉徴収票・支払調書」システムのバージョンアップとデータの移行について

「VBA 源泉徴収票・支払調書」システムのバージョンアップについて説明になります。
他の VBA シリーズ「VBA 青色申告会計」「VBA 給与計算・年末調整」「VBA 所得税確定申告書」「VBA 法人税確定申告書」「VBA 相続税申告書」なども同じバージョンアップ手順になりますので参考にしてください。

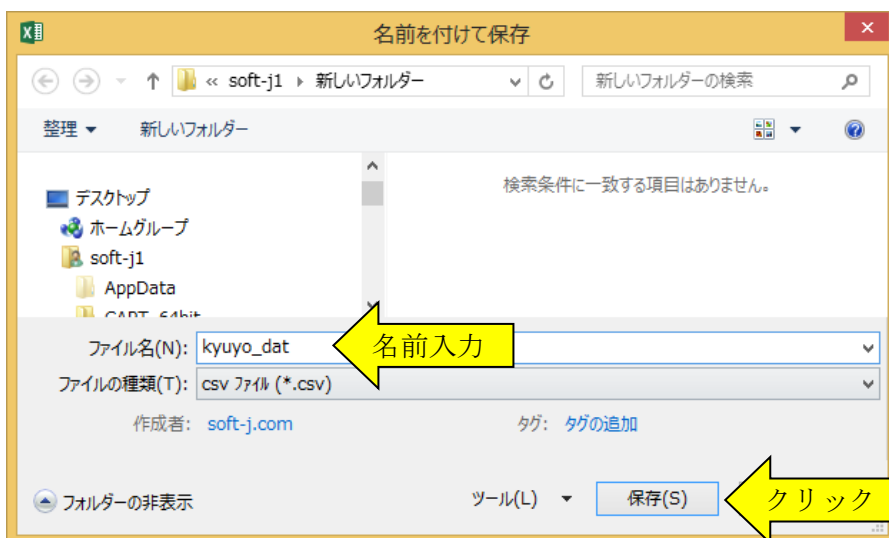
■ 「VBA 源泉徴収票・支払調書」でのデータの CSV ファイルへのバックアップ

編集中のファイルの給与と賞与および年末調整用データを、外部の CSV ファイルに書き出してバックアップします。

1. 「開始」メニューの「ファイルへの保存」でデータを CSV ファイルへ保存します。
このシステムのバージョンは、必ず確認をしておいてください。



2. 「名前を付けて保存」から CSV ファイル名は、ユーザーが自由につけることができます。
この例では、「新しいフォルダ」にファイル名「kyuyo_dat」を付けて「保存」をクリックします。



3. 「新しいフォルダ」に、ファイル名「kyuyo_dat.csv」のデータバックアップ用 CSV ファイルが作成されます。
CSV ファイルを保存するフォルダは、どこでも結構です。またファイル名には、作成年月日などバックアップした日時をファイル名として付けておくと管理しやすくなります。

※ この CSV ファイルには役員や従業員およびその配偶者と扶養親族のマイナンバー（個人番号）も保存されますので取扱いに注意してください。

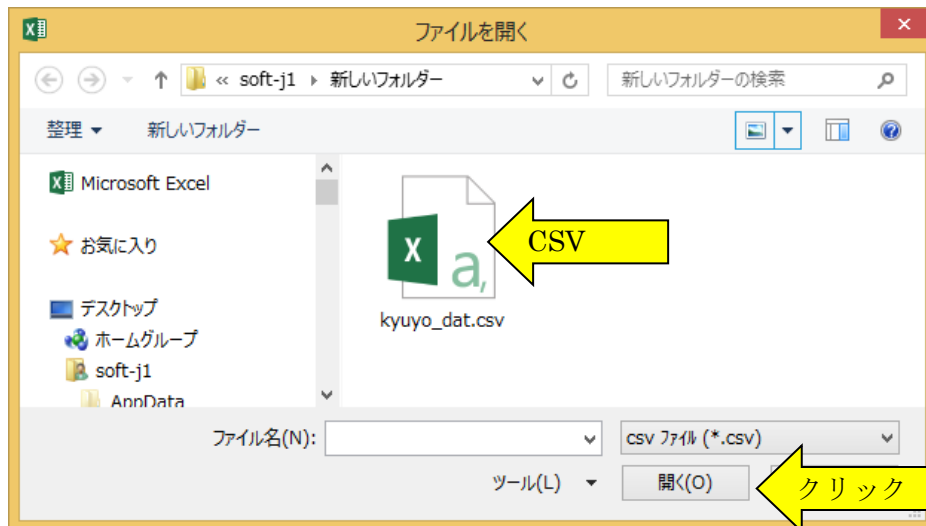
■ 「VBA 源泉徴収票・支払調書」での CSV ファイルからのデータの復元

CSV ファイルに保存した、給与と賞与および年末調整用データを新しいシステムに読込んで復元します。

1. 新しいシステムの「開始」メニューの「ファイルから読込」で CSV ファイルからデータを読み込みます。
新しいシステムのバージョンから、システムファイルの更新を確認してください。



2. 「ファイルを開く」から CSV ファイルを選択してファイルを開きます。
必ず最初の処理で作成した CSV ファイルを指定して「開く」をクリックしてください。
これで CSV ファイルからデータの読込が完了しました。



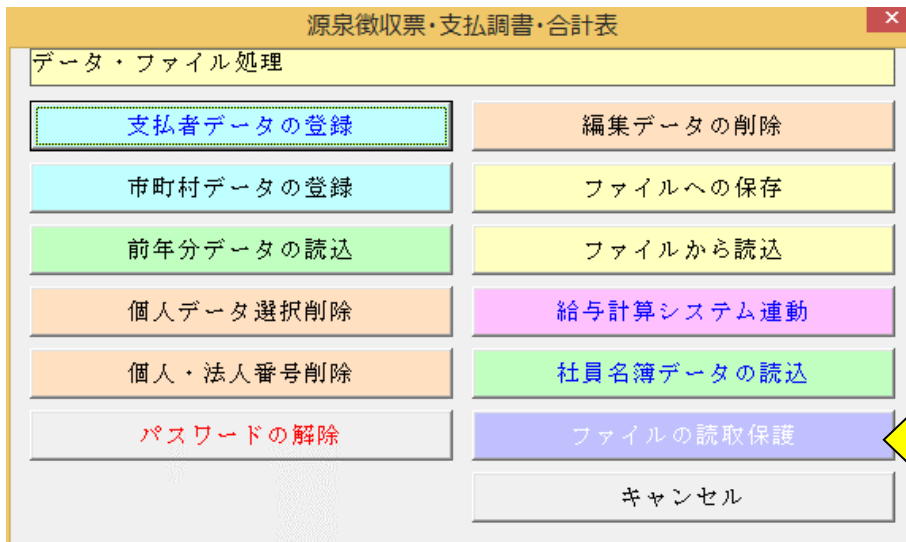
■ マイナンバー（社会保障・税番号制度）への対応について

● ファイルを開くパスワードの設定について

マイナンバーは適切な管理のために必要な措置を講じなければなりません。このため給与計算・年末調整システムもマイナンバーを扱う必要のある担当者のみがファイルの参照や更新ができるような仕組みが必要になります。給与計算・年末調整システムは Excel ファイルですので、ファイルを開くときのパスワードを設定して対応します。

▼ Excel ファイルを開くときに「読み取りパスワード」を設定する手順

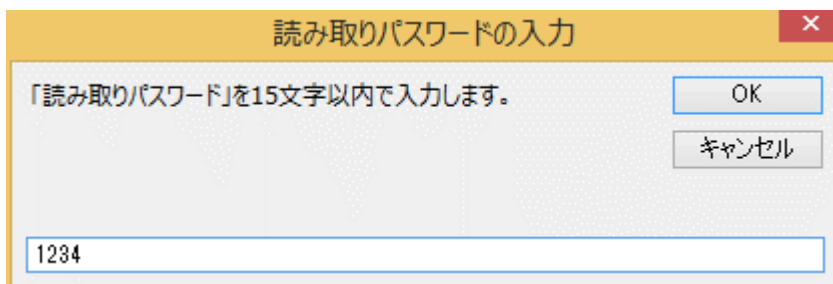
1. 「開始」メニューの「ファイル読取保護」ボタンをクリックします。表示されるメッセージでは「OK」ボタンをクリックします。



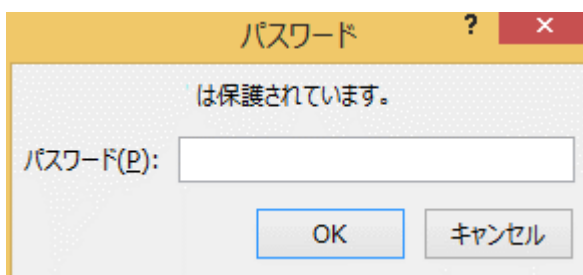
《ファイルの保護》

マイナンバーなどの第三者に見られると支障がある Excel ファイルに読み取りパスワードを設定して、ファイルを開く際にパスワードが必要とすることができます。

2. 「読み取りパスワード」を 15 文字以内で入力します。



3. 次のこのファイルを開く場合は、設定した「読み取りパスワード」の入力が必要になります。



《ご注意》

Excel ファイルに設定した読み取りパスワードを忘れると、システムのファイルを開くことができなくなりますのでご注意ください。